



10月25日、「第10回村長杯秋季ペタンク大会」が総合グラウンドで行われ、参加した12チームは好天の下和やかな雰囲気で行いました。結果は、優勝：福寿会B、準優勝：福寿会A、3位：明清会Aです。

今月の村長室から

◇秋フェスタで美しい村宣言

十月八日に北海道赤井川村で行われたNPO法人「日本で最も美しい村」連合の臨時総会に出席し「美しい村宣言」を行い協定書に調印しました。四十四の町村と地域、四十五社のサポート企業が集まり盛大なフェスティバルでした。

村では、十三日に行った秋フェスタにおいて美しい村宣言を行うと共に、美しい村フォトコンテストや協定集落活動の写真展を行いました。多くの皆さんの参加で盛り上げて頂きました。

「日本で最も美しい村」連合に加盟したからには今まで以上に地域資源を生かした取り組みに力を注ぎ、未来の村民に持続可能な美しい東白川村を残して行きたいと考えています。

◇芸術と文化の秋

二日・三日は文化展と芸能発表会がはなのき会館で行われ日頃の練習の成果を発表して頂きました。八日には工事中大変ご迷惑をお掛けしていた「公民館図書室」をリニューアルオープンしました。キッズコーナーも新しく設置しましたので多くの皆さんの利用を期待します。

そして二十七日には文化講演会が行われます。テレビ番組「笑点」でおなじみの落語家、三遊亭好楽さんの独演会です。皆さんごぞって楽しい秋を満喫して下さい。

東白川村が正式加盟へ

「日本で最も美しい村」連合

10月8日に北海道赤井川村で行われたNPO法人「日本で最も美しい村」連合の臨時総会にて、本村の同連合への正式加盟が承認されました。今回は加盟までの経緯や連合についてご紹介します。

加盟までの経緯

本村がこの連合への加盟に手を挙げたのは今年の一月です。その目的は、村の美しい自然や伝統文化を守り後世に伝えるため、また加盟を認められることによって村民がふるさとに誇りを持つようになるためです。

七月に二名の委員を迎えて行われた審査では、村内の各団体代表者や役員職員が地域資源について説明を行なったあと現地視察へ出かけました。

この審査によって「白川茶文化」「東濃ひのきの里」の二つが本村の地域資源として認められました。

本村の加盟は、岐阜県内では白川村、下呂市馬瀬に続く三例目となります。

審査での評価など

蟠龍寺の住職によっておよそ四百年前に村に伝えられ継承されてきた茶の歴史と、手入れの行き届いた美しい茶畑の景観、主産業である林業や木造建築産業に留まらず、子どもたちの環境保全に対する学習にも活用される東濃ひのきが主な審査の対象となりまし

た。また「村民全体が環境に対して高い意識を持っている」「村民のふるさとやほかの村民に対する心がとても良い」と評価されました。

連合の審査でこれらの資源が認められたことは大変誇らしい事です。

逆に委員からは、「知名度があまり高くないのでインターネットを活用すべき」「地域資源はとても豊富であるが、どうやって活用すべきか」「東白川村といえばこれ、と言える強い個性があったら集客に繋がるのでは」、などの指摘がありました。これらの点を村の持つ資源と照らし合わせ、どう活用していくべきかを考える事が、今後の目標だと思われ

美しい村であり続けるために

本村は清流白川と山々の豊かな自然に囲まれた村です。

これは自然と人間との営みが長い年月をかけてつくりあげた私たちの大切な財産で生活にゆとりと潤いを与えてくれる大切なパートナーです。

しかし、少子高齢化、過疎化の影響は大きく先人から受け継いできたこの誇るべき自然は、今まさに危機

に瀕しているといっても過言ではありませんが。

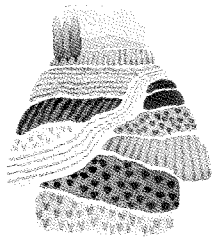
失えば二度と取り戻せないこの誇るべき村の自然景観や伝統文化を守り後世に残し伝えていくため、連合加盟を機に小さくても輝いているオンリーワンの村を目指します。

連合ロゴが使用できます

加盟により連合のロゴを使用することが出来ます。村の特産物や加工品などにこのロゴマークを利用することも可能ですので村のイメージアップが期待できます。

また、村の東西の入り口にロゴマークを使った看板の設置を予定しています。

このマークの使用を希望される場合は、必ず事前に役場総務課までお問合せください。(有線8-3111)



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合とは

今各地で市町村合併が進み、中央部から遠い地域が寂れてしまい、それまで行ってきた地域づくり活動が継承されなくなるなど、小さくても素晴らしい地域資源を持つ村の存続や美しい景観の保護などが危ぶまれています。

これを受けフランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスで最も美しい村」連合を参考に、失った二度と取り戻せない日本の農山村の景観・文化を守る活動を行うNPO法人です。

連合への加盟にはいくつかの条件や審査を通過する必要があります。平成二十三年十一月現在では、今年新たに本村を含む五地域が加盟し合わせて四十四の町村・地域が加盟しています。

また、本連合は昨年十月に「世界で最も美しい村」連合に正式加盟しました。加盟国はフランス、イタリア、ベルギー(ワロン地域)、カナダ(ケベック地域)、韓国です。

連合の主な活動

連合ホームページで各地域の登録資源を写真と併せて紹介、二十四年四月発行予定のガイドブックにて各

地域の自慢の料理・人・商品や宿泊施設・イベントの紹介など加盟地域の情報を発信します。

また定期総会にて各町村長などが集まり将来のまちづくりの戦略を話し合うなど相互の共通課題への対応、資源の有効利用・活用や住民意識の向上を図ります。

そのほか毎年フォトコンテストを開催し十二月から翌年七月にかけて作品を募集しています。入賞作品は公式ホームページに掲載されるなど、連合の広報活動に広く利用されます。

連合の今後の展開

- ・美しい村づくりの推進
- ・ヘルスツーリズム(健康回復や維持・増進につながる観光)の展開
- ・加盟地域の連携強化
- ・広報活動の促進
- ・ガイドブック、WEB充実、連合の運営機能の強化、東京事務局の立ち上げ
- ・有償事業の展開
- ・メンバーズカードの発行
- ・財政力の強化
- ・サポート事業の募集促進
- ・世界への展開
- ・世界連合マークの制定

岐阜県内の加盟地域

大野郡白川村



主な資源

「萩町合掌造り集落」：白川村の代名詞ともいえる世界遺産の合掌造りが建ち並ぶ集落です。「どぶろく祭り」：約三百年前から始まったとされるお祭りで毎年十月に開催されます。

下呂市馬瀬



主な資源

「馬瀬川」：馬瀬川の鮎は平成十九年の味比べ大会「利き鮎会スペシャル in Tokyo」でグラントチャンピオンに輝きました。「美輝の里」：美しい自然と歴史を感じさせる建築物が日本のふるさとを思わせる景観を作り上げています。

全加盟地域、その他の情報は「日本で最も美しい村」連合HPをご覧ください。http://www.utsukushii-mura.jp/

○好天の下でウォーキング

― 村民ウォーキング大会 ―

今年で十回目となる村民いきいきウォーキング大会が十月十六日に開催されました。二十一チーム七十五人の参加者は中川原水辺公園を発着点に、西洞から中谷・加舎尾を通りおよそ九キロメートルを歩きました。

この大会では自分のペースで歩いてもらうため事前に申告したタイムと実際のタイムとの差で順位を競います。少し汗ばむような陽気でしたが、景色を楽しんで歩く人や申告したタイムに近付くようペースを調整する人など様々でした。

来年は岐阜国体のデモンストレーション競技としてこもれびの里でウォークラリーを予定しています。



歩いて心地良い汗を流します

○パン作りに挑戦

― 保育園年中組 ―



焼き上がりが楽しみです

十月十八日、保育園の行事で年中組の児童十四名が味彩でパン作りを体験しました。

この日は生地を一からつくるのではなく、園児向けにあらかじめ作られた生地をへらで切り分けたり、こねて形を整えるなどしてカメの形をしたパンを作りました。

仕上げにはクルミやかぼちゃの種、黒ゴマなどでトッピングしそれぞれ個性的なカメを作っていました。

スタッフの見本を見た園児からは「難しそう」と声があがりましたが、作り始めるとどの子も楽しそうに出来上がったパンの形とトッピングに満足している様子でした。

○日ごろの成果を披露

― 東白川村文化祭 ―

トリを飾った「松茶太鼓」



村民が日ごろの成果や作品を展示・発表する東白川村文化祭が十一月二日から三日にかけてはなのき会館で開催されました。

会場には、協会員をはじめ小中学校児童・生徒や一般からの出展作品が二日間にわたって展示されました。

また、三日の芸能発表では協会員や老人クラブの踊り・民謡など多彩な出し物が披露されました。

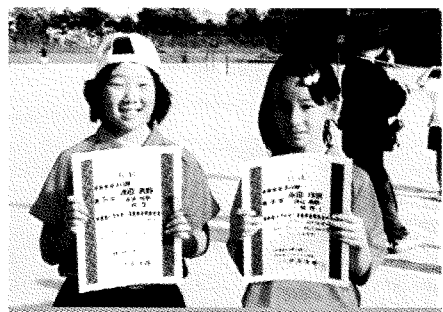
どの演目も大変力が入った素晴らしいもので会場からは大きな拍手が贈られていました。



展示作品を鑑賞する来場者

○目標は一勝

― 永田玲奈さん全国大会へ ―



永田玲奈さん(右)と渡辺美野さん(左)

小学四年生の永田玲奈さん(下親田)が、ペアの渡辺美野さん(御嵩町)とともに十月十五日の岐阜県ソフトテニス小学校秋季大会四年生以下女子の部で三位に入賞し、来年三月末開催の全国小学生大会へ出場が決定しました。また、同月二十九日の岐阜地区小学生秋季会長杯ソフトテニス大会女子五年生以下の部では優勝を飾りました。

同月二十四日には、村長室にて安江村長から激励の言葉を受けました。玲奈さんは「目標は一勝です。日ごろの練習を生かせるように頑張ります。」と意気込みを話していました。大会での玲奈さんの活躍が期待されます。

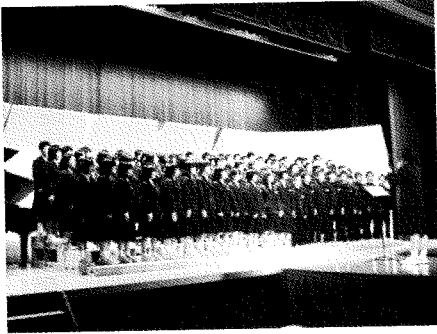
○東中の伝統行事

— 中学校合唱フェスティバル —
十月二十三日、はなのき会館で中学校の合唱フェスティバルが行われました。全校生徒七十六人は、この日に向けて練習で磨いてきた合唱を会場いっぱいの人たちの前で披露しました。

今回の合唱フェスティバルのステージである「輪」に込められた想いのように、どの学年も仲間とつくりあげたすばらしい合唱となりました。

生徒の発表のほかPTAの歌や、親子合唱などもあり最後には会場全体で「ふるさと」を歌いました。

先輩の歌声が後輩たちを成長させ、来年も素晴らしい合唱が期待されます。



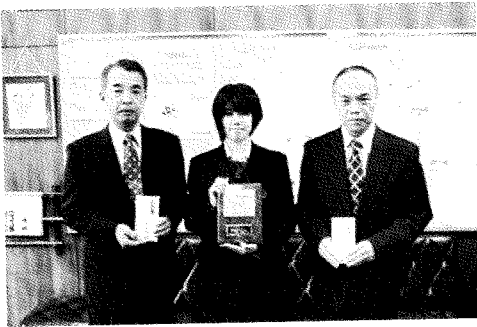
ホールに響く素晴らしい歌声

○今井美輝さん、最優秀賞受賞

— 関市こども映像コンクール —
加茂農林高等学校三年生の今井美輝さん（神付）が関市映像コンクールにて最優秀賞を受賞、見事アジア国際子ども映画祭の中部北陸ブロック代表に選ばれました。

受賞した作品「地歌舞伎に学ぶ」は、村の歌舞伎をテーマとしており村民が年齢を問わず一致団結する素晴らしいさを伝えています。

また美輝さんは「学校や様々な方の協力を得て賞が貰えた。少しでも母校の後輩たちの力になりたい」という思いで、副賞である図書券を加茂農林高等学校と東白川小学校・中学校へそれぞれ一万円を寄付されました。



図書券を各学校へ寄付

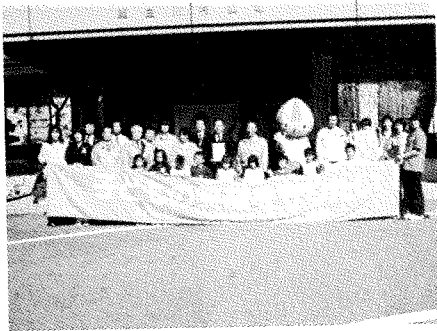
○県内で児童虐待防止呼びかけ

— オレンジリボンキャラバン隊 —
近年増加しつつある児童虐待から子どもを守るため、虐待防止を呼びかける「岐阜オレンジリボン・キャラバン隊」が十月十九日に東白川村役場に来訪し防止に向けたメッセージの伝達式が行われました。

これは十一月の防止推進月間に合わせて、シンボルであるオレンジリボンを活用した啓発活動を目的に県が主催したものです。

隊は県内全四十二市町村を訪問し、県知事からのメッセージを伝達しています。

安江教育長は、「子どもへの虐待のない地域を目指して行動します」との決意を隊へ伝えました。



キャラバン隊と共に誓いを

○生まれ変わった図書室



明るくなった新図書室

七月一日から改修工事のため休室となっていた図書室が十一月八日より装い新たに再開となりました。

間取りの変更や本棚の更新、わくわくスポットと一体化し、閲覧に使えるスペースが増えたほか、キッズコーナーが新設され小さいお子さんもより楽しめるようになりました。

利用規定

- ・ 時間 九時～二十一時
- （十二月三十一日～一月三日は休室）
- ・ 貸出 個人責任による自由貸出
- ・ パソコン 図書室の利用時間内は常時インターネットに接続
- ・ わくわくスポット 利用方法は以前と同様で、総務課で使用申請手続きを行います。

子育てママの会
12月の開館情報

				1	2	③
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	⑰
18	19	20	21	22	⑳	㉑
25	⑒	㉓	㉔	㉕	30	31

○が開館日です

○定住促進住宅入居者募集
平成二十三年十二月二十八日完成予定の、東白川村定住促進住宅二戸の入居者を次の通り募集いたします。
入居資格・家賃 本村に定住するために住宅を必要とする方・村内住民で婚姻を機に新居を必要とする方・入居時に世帯主が四十五歳未満である方・その他東白川村定住促進住宅の設置及び管理に関する条例による。
家賃：月四万円
敷金：家賃二か月分
その他控除あり
入居受付 平成二十三年十一月一日～十二月十日

○東白川村定住促進事業

定住支援の内容（支援額上限）

- ・住宅新築の助成：百五十万円
- ・中古住宅購入の助成：百三十万円
- ・住宅改修の助成：百三十万円
- ・村営住宅入居者の家賃助成
- ・定住促進住宅の家賃控除基準に準ずる

助成を受けるための条件

- ・村外者で永住（十年以上）を目的に村内に住民登録した者
- ・村外に転出した者で三年以上経過後再度村内に定住を目的に居住する者
- ・村税など債務の滞納がない者
- ・申請者及び同居親族が暴力団員でない者
- ・二年以内に住民登録を行った者
- その他 村営住宅の家賃控除の条件や、ご不明な点は役場環境係（有線8・3111 内線140）までお問い合わせください。

短歌



南部鉄に 潜める音を 誘い出す
微かな風に 風鈴鳴りぬ
今井米子

この秋も 葉陰に匂う 茶の花よ
この樹育くみ 早や五十年
今井光彦

山仕事に いそしむ夫の 労ねぎらい
冬陽蒲団に 包み込み置く
菊田良香

梅の実が 静かな夜更けに 落ちる音
トタンの屋根に コーンコロコロ
菊田清美

山里は 眠りに入りて 星降る夜
星に誘われ 我は戸に出ず
小林道子

出荷する トマトの車 つぎつぎと
ほのかな香り 残し去り行く
田口かずみ

久しぶりに 訪ねし家の 置床に
八重水仙の 白さ目にしむ
早瀬久子

喜寿となる 夫を伴う 善光寺
何を願うや 丸き背を見せ
古田 緑

四方山の 話を交し 春の野に
もぐさ摘みする 我が妹と
安江嘉子

幼き日の 年末年始 何処にと
中州に佇ずむ 鴨に問わるる
安江守平

想ひ出と 共に暮らして 夢にみる
若き兵の日 赤道の下
安江嘉久一

せせらぎに 螢の光 もどり来て
十月の月が 苧の葉照らす
安江とくよ

裕泉寺 境内巡れば 白秋の
碑ありて 文字たどり読む
安江 澄

〔平成十九年発行 木の实会短歌集【第一集】から〕

○先月の広報で、安江峰子さんの俳句が間違っていました。お詫び申し上げます、次のように訂正させて頂きます。
「酸漿に 羽をたためし 蝶かくれ」

人口の動き

—10月末住民登録人口から—

世帯数	869	世帯
人口	2,696	人
	(男1,290人 女1,406人)	
転入	8	人
転出	2	人
出生	4	人
死亡	2	人
先月と比較して	4	人減
昨年と比較して	45	人減

編集後記

私は現在、教育委員会のパソコン教室にて補助を務めています。
パソコンは趣味や仕事で毎日使っているので自分が一番合った手法を身に付けているつもりでした。
しかし、他の講師の方が作られたテキストや、教室生の方に教えていく中でより便利な手法を知る、ということがいくつもありました。
この体験で新しい発見は意図しないところにあるものだということが、人生というのやはり学習の繰り返しということを実感しました。(H)